

三十四 お宮詣り祭文

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天
理教 分教会長 慎んで申し上げます

たいないゑやどしこむのも月日なり

むまれだすのも月日せわどり

と仰せ下さいましたが この度親神様の不思議なご守護によ

り 平成 年 月 日 父 母

の長男 が明るい元気な産声を挙げてこの世に

生を享けさせて頂きました

お陰様で母子共々壮健であり産後の日経ちも順調で

今日は早や一ヶ月の日数を経過しましたので只今より 厚

く御礼申し上げるべく 親神様の御前にお宮詣りをして下

さいました

この上はこの深い親心にこたえ かしものかりものの教えを

一層強く心に治め 親の道子が通る という厳粛な因縁

一条の流れを自覚し 両親はもとより一同もひたすら 心

の成人につとめさせて頂きますから 親神様も の上

には限りないお恵みをおかけ下され 世界たすけのお道の

子供として将又有為なる社会の子供として 充分に長命の

理と末長い多幸の人生をお与え下さいますよう慎んでお願

い申し上げます